

# 文化祭 10・28～11・3

展 示 10・28～11・3

前夜祭 11・2 5:30PM町内神楽発表会

当日祭 11・3 9:00AM各種団体発表会

萌ゆる  
時代



数えきれない

「明日への<sup>まな</sup>願い」は、

時代 その時代の中で

あるものは 芽がえ

あるものは 花開き

さまざまな 形で

叫び続けて来たことだぞう

今

私達に

この拓かれた郷土に

「未来への芽がえがあるとしたら

せいっさい叫びたい

私達

この時代の

「生の証<sup>まかし</sup>」として

「萌ゆる時代」の中で

*shizil*



# 会長あいさつ

昭和58年度文化祭実行委員長

千代田町青年連合会

会長 引地 靖 博

時代は

そこに生きる人々によって息づき

その環境によって動かされる

過ぎて

その時代が

どんな人を育て

環境を造ったかを

教える

生活が豊かになり、便利な世の中になったという一方忙しい忙しいと何かしら気ぜわしい。

選んで暮すことに慣され「汗、水流して」造り上げることを、どんなことにつけても忘れかけているとしたら「時代」というかけらはどこにも見つけることはできないだろう。

テーマ「萌ゆる時代」に託したものは、千代田町にとって、私達にとって、より大きな意味を持つ「道」も含めて、私達がより私達らしい「生き方」と「町づくり」を現代に問いかけたことです。

この文化祭が、この時代のある基点として、千代田の中に広がって行くことを願ってやみません。

私達若者、町民皆若者の心意気で現代を力強く、来る時代の第一歩を進めようではありませんか。

文化祭にあたり、テーマ・ポスターを始め、企画から発表までいろいろ一般町民の方々からの応募やご支援の中で心強くすすめていただきました。ありがとうございました。

今後共ご指導、ご協力くださいますようお願いいたします。

# あ い さ つ

## 燃えよ青春

千代田町長 井上一位

主催者は、今年の文化祭テーマを「萌ゆる時代」と名付けました。これは今の千代田が季節に例えれば、寒い冬からようやく万物萌え出ずる春を迎えようとしていることだと、ある青年が話してくれましたが、私はこのテーマから、青年らしい、たくましい情熱と希望に燃えるものを感じました。又本町の将来を担う青年の心意気に感激しています。

全国地図でも、余り名前の載らなかった「千代田町」と云う文字が、高速道路の開通とともに、どうしても書きこまれる時代が来ますが、それが唯、それ丈のことであってはなりません。

これを契機に、実際に産業文化の発展と、住みよい町づくりにつながる郷土の町名となる様に、町内が一丸となって、希望に燃える努力をしてこそ、意義あることだと思います。

「萌ゆる時代」は「燃える青春時代」であります。

精一杯頑張らしましょう。

千代田町中央公民館長 増本利明

「萌ゆる時代」は文化祭が、町民の皆様の中により深く広がることを願いながらすすめられたことの一つの表現として決められたテーマだと言えましょう。

「萌ゆる時代」これこそ7回を数える文化祭を意図し、現代を力強くまた未来への行動を意識する千代田町であり、合併後24才になった青春の試練の時代にふさわしいテーマだと感じずにはられません。

青年の力が集結し、その行動によって、さまざまな「可能」への道が拡大されていく。この時代こそ、この文化祭の中にこそ、ふさわしくより高い営み、より高い精神を築き上げてゆくものと信じます。

千代田の文化の創造に一万一心萌えさせたせようではありませんか。なんとすばらしい胎動ではないでしょうか。町民皆現代の営みの中に湧きあがる勇気が贈られてくる気がします。

この文化祭を開催するにあたり、多大な御協力、御支援をいただきました方々に厚くお礼申し上げます。

# 日程と会場あんない

◆ 展 示 10月28日 11月3日

(午前9時から午後4時まで)

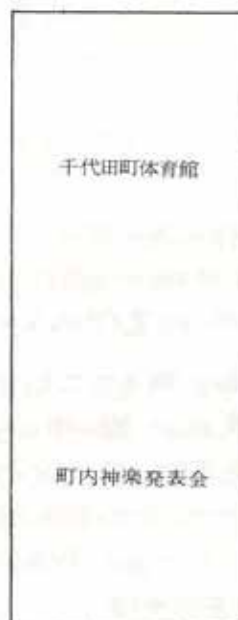
千代田町中央公民館  
中学校校舎2教室

## 《中央公民館》

2階



## 《体育館》

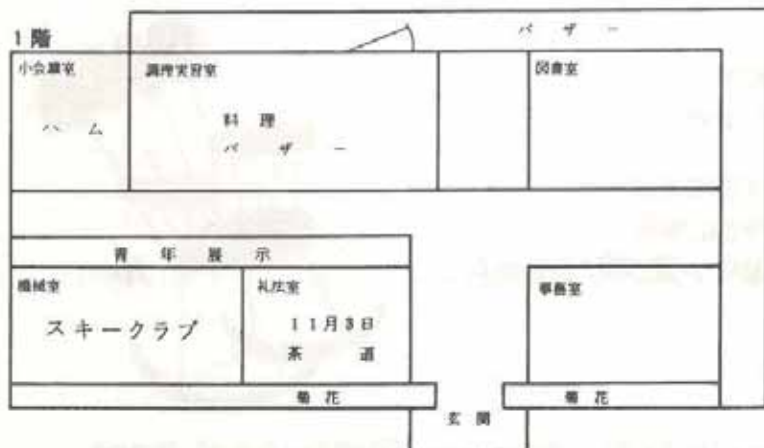


《中学校》  
11月3日のみ

1階 東側2教室



1階



◆ 前夜祭 11月2日 午後5時半より

千代田町民体育館  
町内神楽発表会

◆ 発表会 11月3日 午前9時から

千代田町民体育館



千代田町中央公民館



### 菊花同好会

菊の便りが聞かれる季節。大輪，懸崖，文人づくり……。

各地の菊花展で誇らかに，農家の庭さきでひっそりと日本の秋を象徴する菊の花。

丹精こめた菊が，馥郁たる香りを庭いっばいに漂よわすとき，作った者のみが知る喜びでありましょう。

今年も，私たちの作った菊の一部を陳列して，文化祭にいろどりを添えることになりました。みなさまのご鑑賞をお願いいたします。

同好会の会員は現在約30名，同好のみなさまのご入会をお待ちしております。



### アーティスト・クラブ・チヨダ

なぜ人は、物を作れるのだから  
なぜ人は、文字や絵が描けるのだから  
何も無い空間から形を作れるのはなぜ

あなたは、そんな事を考えたことはありませんか  
無限なる知性の流れが、踏み中にもあるとしたら  
そこから自分の必要とするものを、自分で表現できたら……

最初は、上手に描けないかも知れない  
でも、だんだん描けるかも知れない  
でも、巧みになるかも知れない

無から有を作り出す魔術師になれると思います。



アーティスト・クラブ・チヨダ  
折高竜二

### 写真クラブ

伸ばそう腕を 輪田辰雄

千代田町内には，多くの写真マニヤがおられることと，思います。そして，写真機の数も，相当なものだと考えられます。

それぞれに風景，人物，記録，記念等の目的に向って，シャッターを切られることと，思います。中には，すぐれた写真が数多くあることでしょう。

ぜひ，町民の広場として，文化祭に出しませんか，参加することに意義があり，よい勉強になりますよ。そして，公民館活動として，クラブを生かそうではありませんか。



# あんない

展 示 No.2 \*

大地が純白にドレスアップした頃、愉快的連中が三々五々集って来て、雄大な自然のふところの中で、滑ったりころんだり……

一年の内で2, 3ヶ月間のことですが、このクラブで出来たコミュニケーションは一時、いや、いつまでもいつまでも続くのです。

スキークラブ活動を町内の皆様にも知っていただくために文化祭に参加します。

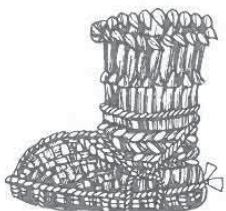
楽しいスキー映画や、今からスキーを始めようと思われる方に器具の紹介、選び方などのアドバイスをするコーナーも設けます。

ぜひ遊びに来て下さい。そして私達と一緒にスキーを楽しみましょう。お待ちしております。

「ハローCQCQ, こちらはJA4YMR, どなたか感度ありましたらQSOよろしく」……

暇な時間を見つけて、いつ、どこからでも出来るアマチュア無線です。電波を利用して人と人との出会いを大切に、地元の話、身の上話、他諸々の話を世界各国の仲間達と時間がある限り楽しく、有意義に過しております。また、今年は千代田でもハムの免許取得の為の講習も開かれ、多くの人達が仲間入りされる事をクラブ員一同希望しております。免許を取得され、アマチュア無線の醍醐味を私達と一緒に味わってみませんか？

代表 土井正昭

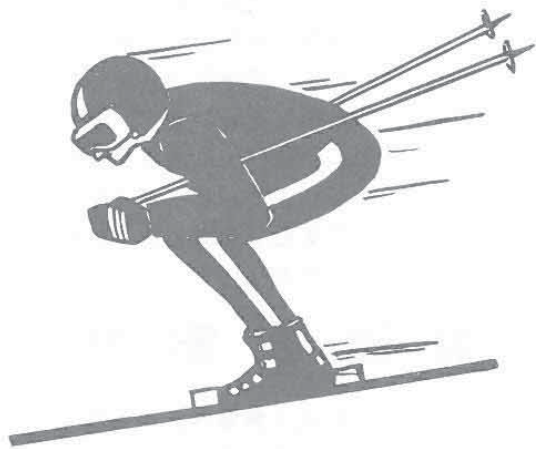


町内20支部のクラブから出展する手づくりの作品は今に伝えたい「技」と「心」の作品。

書画や盆栽そして工芸品など多彩な作品を、例年百数十点展示しています。どうぞご覧ください。

焼物は土と炎の芸術とも言えるでしょう。どなたが作られても、これほと思うような逸品ができる事があります。その反面落胆する事もあります。その点非常に忍耐のいるものです。しかし、焼きあがって窯から出す時は期待と不安とで心がはずみます。たとえはずんでも、自分の手で作って焼いた作品は何物にも変えがたいものです。ここに展示しました作品は、クラブ員が心をこめて作ったものばかりです。どうぞゆっくりご覧ください。尚、焼物クラブでは、いつでも皆様の入会をお待ちしております。興味のある方は、ぜひ公民館の方へお申し出てください。

## スキークラブ



## アマチュア無線クラブ



## 老人クラブ



## やきものクラブ





## 書道教室 A

講 師 池田剛三先生  
学級長 金子勲一

今年も文化祭がせまって参りました。学級生の皆さんは、自分自身のものとして精一杯取り組み、たくさん作品を展示致しました。今ではこうして一般の方々に見ていただく勇気がつきました。やはり自分の学を他人に見てもらふ事も書を学ぶ上で大切な事だと思います。また、毎月の清書を数カ所の書道会に出品し審査を受けるなど巾広い勉強法で大きなはげみとなっております。

こうして、せっかく良い先生を得、豊かな学びの場を与えてもらっております時、この文化祭を機とし、心新たに一生の仕事として書の勉強を続けていかれる事を願うものであります。

## 書道教室 B

講 師 吉川哲雄先生  
学級長 高藤 昇

私達B教室は、老若男女、夫婦、独身、各職場と巾広い中からの同志で、現在学級生25名で構成されています。

月2回の夜の練習には、昼の勤務の疲れも忘れ、2時間一心に励んでおります。時には行きずまり、筆を手にしたくないこともあります。書は心の鏡とか、さいわい私達は心技共に優れた指導者に恵まれ、和やかな内に厳しく書の道をひもといていただいております。

このたびは文化祭に際し、日頃の練習の足跡の一つとして各人一生懸命取り組んだものです。作品をご覧の上、ご指導下さい。

## 書道教室 C

講 師 吉川哲雄先生  
学級長 大橋 賢

千里の道も一歩から、との諺がありますが、今私達はこの道を一歩踏み出したにすぎません。公民館に書道教室を開講せられ、Cクラスまで発展したことは、この関係者各位の御努力と講師吉川哲雄先生の熱心な御指導によるものと深く感謝し反省しております。

今後も永くこのクラブを通じて自己研摩に努力したいと一同願っております。

## 将棋クラブ

### 将棋をやろう !!

三谷盛夫

私達千代田将棋クラブが、公民館活動の一端として活動を始めて3年になります。毎月第一第三土曜日の夜、公民館で10人くらい集まって楽しんでます。将棋をやることにより

- ① 味を覚えたらおもしろいこと天下一品
- ② 浮世の苦しさや悲しさを忘れさせてくれる
- ③ 脳細胞の老化を防ぎ長生きの基となる
- ④ 老後の余生に生きがいと、楽しさを与えてくれる
- ⑤ 少年には数字に強くなり、主体性と独創性が豊かに育つ

等、その他沢山いいことがあります。町民のみなさん、今からでも遅くない、老いも若きも、将棋を始めましょう。





# \*—前夜祭—発表会—\*

## ■春木神楽団

題目 悪狐退治

出演者  
 三浦介 小田 巖雄  
 上総介 蔵升 芳信  
 和尚 竹内 一夫  
 玉藻前 平川 武治  
 悪狐 谷川 博美  
 大太鼓 吉光 訓治  
 小太鼓 山下 豊  
 手打金 竹内 一  
 笛 森 教一

## ■上本地神楽団

題目 檀の浦

出演者  
 源義経 花木 利明  
 弁慶 大下 義治  
 平知盛 田中 敏己  
 能度守 仲野 末雄  
 静御前 藤原 耕治  
 釣太郎 花木 辰夫  
 大太鼓 中光 紀明  
 小太鼓 迫田 春夫  
 手打金 田中 久夫  
 笛 片山 優

## ■河内神楽団

題目 八岐大蛇

出演者  
 蛇 寺田 清之  
 〃 近本 崇治  
 神 寺川 英昭  
 姫 沖 英治  
 じい 名古田杉男  
 ばあ 貞広 昇  
 大太鼓 広藤 義夫  
 小太鼓 大月 盤  
 手打金 藤本 鶴夫  
 笛 大月 義教

## ■八西重神楽団

題目 葛城山

出演者  
 頼光 三谷 菊雄  
 季武 大塚 隆  
 金時 塚本 勝芳  
 胡蝶 栗木 清吉  
 土蜘蛛 岡本 守  
 大太鼓 坂本 靖之  
 小太鼓 中田 一成  
 手打金 福田 春三  
 笛 奥田 一三

## ■中川戸神楽団

題目 伊吹山

出演者  
 神 山崎 隆司  
 神 大田 雅之  
 賊 太夫本邦和  
 賊 羽原 博明  
 鬼 前長 新治  
 チャリ 池本 正得  
 大太鼓 友永 正志  
 小太鼓 前岡 壮典  
 手打金 名和手公博  
 笛 丸亀 直人

## ■東山神楽団

題目 日本武尊

出演者  
 日本武尊 宮上 義宣  
 小雄 川口 薫  
 賊 宮上 直雄  
 賊 吉原 千秋  
 姫 山田 芳彦  
 姫 本原 昭弘  
 大太鼓 宮上 誠治  
 小太鼓 中村 正明  
 手打金 中原 健  
 笛 出上 継男

## プログラム

開	会	( 9.00～ 9.20)
演	劇	川迫青年会 ( 9.40～10.00)
謡	曲	白扇会 喜多流 (10.10～10.30)
琴・三味線	琴・三味線同好会	(10.40～11.00)
演	劇	南方青年会 (11.10～11.30)
詩	吟	老人クラブ (11.40～12.00)
影	絵	本地青年会 (12.10～12.30)
尺八・琴	都山流尺八同好会	(12.40～13.00)
懐しのメロディー	楽団ふるさと	(13.10～13.30)
創作「昔話し」	壬生青年会	(13.40～14.00)
コーラス	コーラス・クラブ	(14.10～14.30)
弓	道	弓道部 (14.10～15.00)
民	謡	本地・八重中央婦人会 民踊グループ (15.10～15.30)
紙	芝い	八重青年会 (15.40～16.00)
コ	ント	八重東青年会 (16.10～16.30)

千代田町には現在神楽団が18団体あります。育てられ、伝えられた神楽が私達の一年の暮しの中に位置づけられ、時には一つのコミュニティー活動として、またある時には文化財、芸術の活動としてますます盛んになっていくことは、心豊かな郷土をめざす私達の町にとって大変すばらしいことと思えます。

このたび文化祭の前夜祭にその受け継がれていく神楽の発表会を企画しました。神楽について、また新舞とか旧舞とかについてご覧になるみなさまと共に楽しみ、学んでゆきたいと思えます。



# \* 11月3日特別行事の紹介

## 幼児文庫



文化祭のテーマは「萌ゆる時代」。今千代田に赤ちゃんから幼稚園まで約千名の生命が芽生え、双葉から本葉へと若草色に萌えそめています。

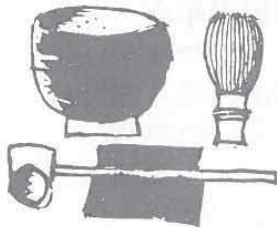
燦々たる太陽のもと時に冷たい雨もこやしも必要です。それぞれの家庭の抱負をになって、どんな大樹に育って行くのでしょうか。さしづめ絵本はこやしでしょうか。

いい本を読んでやりましょう。子供達は手をひろげて待っています。今年は町のボランティア活動センターに登録、しだいに充実したものにしてゆきたいと思います。

3日の文化祭当日視聴覚教室(2階)にていつもの通りの文庫の交換と本の展示、よみかかせを行います。

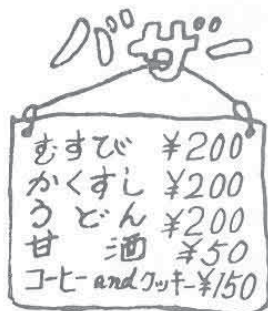
10時より3時半までです。皆さんのおいでをお待ちいたして居ります。

## 茶 道



早いもので、私達茶道クラブが文化祭に参加させていただくのも今年で三度目になります。本年のテーマ、「萌ゆる時代」にふさわしく、力いっぱい活動している皆様、ひとときの安らぎと落ちつきを与えるお抹茶の香りを、ぜひ味わってください。三年たてば、赤子も上手に歩き、話し始めますが、私達はいつまでたっても一年生。上手なお点前もできませんが、真心こめて点てさせていただきます。お気軽にお立寄りください。

茶道教室 会長 畠山サワエ



千代田で出来た小さなこがねが、婦人会の皆様の手の中で、あれこれ姿を変え、小さな舞台で花を咲かせます。

♪ 体育館のあの大きな舞台とは少しちがうけど、きっと皆様に満足して頂けます♪と……

場所 公民館裏 時間 10時から15時まで

※ おいしいコーヒーの入れ方教室

おいしいコーヒーの入れ方を皆といっしょに学びましょう。

場所 調理室 時間 午前8時から9時



## 野 菜



千代田町農協婦人部(2,054名)は、昨年より活動の中に家庭菜園を取り入れました。農村に矛盾する野菜不足の解消、共に農作業する中にある「家族のふれあい」を菜園に求めてという願いから発足したものです。春秋2回の講座にも少しづつ受講者が増え、その多くは講座のたびに普段知っている栽培法を改めて考えさせられています。いまでは、家庭菜園、田の苗も春には育苗センターで育てられ、農協、普及所の御指導のもとに「夢を苗に添えて」各家庭の菜園づくりにお手伝いしています。

千代田町内の家庭菜園が、四季を通して生活に豊かさを添える事を願い、ますます伸びが拡がる事と念じ婦人部一同頑張っています。

千代田町農協婦人部  
家庭菜園品評会

## フ ォ ーク



今年の文化祭にあわせて私達はグループを結成してみました。結成して初めての試みで失敗もあると思いますが、私達の若さとエネルギーを会場いっぱい発散させてみたいと思いますのでどうかよろしくお祈いします。

曲・かぐや姫ナンバー その他





## 琴・三味線

「琴」というものを、初めてみたくてもなかなかとりつきにくいものだと思います。このチャンスにあなたもお始めになっては如何でしょうか……？

この文化祭での演奏には『幼き日の思い出』で「かくれんぼ」「子守唄」「花いちもんめ」「手まり唄」と懐しいメロディーで綴られています。昔を一寸思い出して皆さんも歌ってみてください。そして、『千代の松』はガラッと変って三味線だけの合奏曲でたぶんお聞きになったことのない曲だと思われるでしょうが、一生懸命に練習した成果を見てください。

本 手 井木・海口・広藤・向井

替 手 森下・森下

1, 3弦 井木・森下・森下

2, 3弦 広藤・向井



## 尺八同好会 都山流

「うるさい！外で吹けー」「子供が起きるけーやめんサイ」「こがあな竹が何十万もするんかー、家の火吹き竹と変わらんー」「高い物をこうて何がおもしろいんならー」等々の言葉を背に、尺八の音色に魅せられた男4人が、がんばっている会です。今回蔵迫の中野社中(琴)の協力を得て文化祭に参加させていただくことになりました。日頃の精進を見せんものと張りきっております。

## 謡 曲 (喜多流)

謡曲喜多流は戦時中広島から疎開された歯科医藤井先生によって伝授され後に、教師豊島正美先生が、引続き御指導下さり、同志により白扇会が組織されたが豊島先生の御逝去の後、広島市河原町喜多流准職分中村茂先生を迎え毎週土曜日4回八重十日市公民館で約30名の者が指導を受けています。今年文化祭の出演題目は謡曲素謡「熊坂」、仕舞「雲雀山」と「東北」です。謡曲熊坂は源平時代熊坂長範の豊旅儒に現れて回向を頼み金商人、吉次の嶺を襲いて牛若に討たれた懺悔物語をなす事を作ったものです。仕舞東北雲雀山は夫の謡曲の仕舞どころを舞います。

## ♪♪ コーラス ♪♪

明るい歌声がこだまして、日頃の疲れがいやされる月1回のコーラスの集い、ささやかな歩みですけれど、どうにか軌道に乗ってきた感じでした。曲も昔歌った思い出のうたなど親しみやすいものを中心にして、誰でも気軽に参加していただけますが、只今会員は20名余り、ママさんグループといったところががんばっています。これからも楽しいこの集いから美しい歌声の輪を更に広げていきたいと願っております。

曲名 「野ばら」「希望のささやき」ほか



## 詩 吟

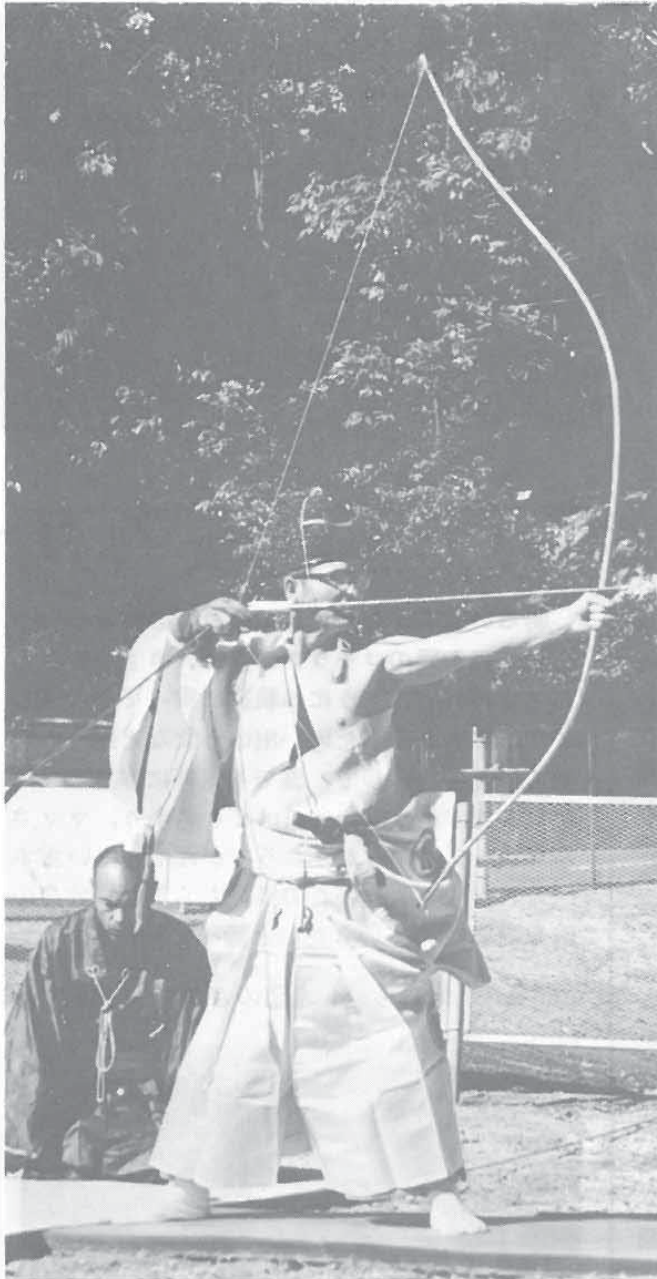


大学の詩吟クラブの生徒数は37名です。先生は、本地、森協輝之先生です。この度、出演致します詩吟の時間は、一グループが約2分としますので、歌の題名を書いておきます。

独吟	日山城懐古	松原一美
合吟	小島高則	三須ミズエ外
合吟	吟道日本	西岡秋子外



## 弓 道



自分自身を育てるという点で弓道が最適と思い、何も知らなかった私共が、県連の指導を受けることなく発足した同好会も、地元出身の大月五段、出田教士の助言により県弓道連盟千代田支部として認められるようになりました。先輩との交流によって弓射を行なう人間の精神面、内面的機能の働き等を体得し、不断の修練の成果は、昇段試験においてその真価を表彰され、すでに二段五名、初段十数名の射手を育てるまでに成長しました。今後吾が弓道部の発展のために、弓道教室を計画的に実施し、地域の人々と共に真の弓道といえる弓射を行なえるよう精進したいものです。

射手 教士七段 出田 要  
 介添 五段 大月安夫(替え方をもつ)  
 二段 上川 裕(刀持ち)  
 服装 平安朝豊かな古式装束による射礼を行なう。

## 民 踊

### 民踊の楽しさを求めて

昭和42年7月、中央婦人会民謡教室として発足

指導者 小林先生

会員数 14名 平均年令50才+α

敬老会、老人ホーム慰問等、多少社会に貢献しているつもり…?上手下手はさておいて「いつまでも若く美しくありたい」と思う女性の願いと美容体操を兼ねて。また、人間関係にも大きく役立っていると思います。練習日、第4月曜日、新地会館で練習していますので、希望者はいつでも入会できます。

出演題目 1. 日光和楽

2. どんぱん節

代表 河野文香

## 楽団ふるさと

今年の初め結成したこのバンドは、早や7月には初演奏2回目は壬生の盆踊りと、懐かしのメロディーと軍歌で迫ります。

現在メンバー8名、平均年令45才くらい。毎週土曜日。ある小屋裏で練習に練習を重ねて文化祭にのぞみます。

アコーディオン 村上・前原・山手・高下

サイド 渡辺

ドラム 松原

ボーカル 金子

ベース 伊藤

本地民踊グループの結成はかなり以前より望まれておりましたが、51年度に井上信子先生という良き師にめぐりあい、またグループリーダーのもとに自主参加された25名の方々の意欲的で、楽しい雰囲気があり上りを一層深めております。月に一度の練習ですが、1日の疲れをいやし、自身の開放の場を楽しむとともに、家庭に明るさを持ち帰るよろこびを味わっております。地区の大きな行事にはすすんで参加し、多くの方と楽しさを分かちあふ事は、格別なすがしきがあります。一か月500円の会費ですが、せめて一枚は衣装をそろえたいと一同張り切っております。

本地民踊グループ

代表 香浦ミツエ



八重青年会

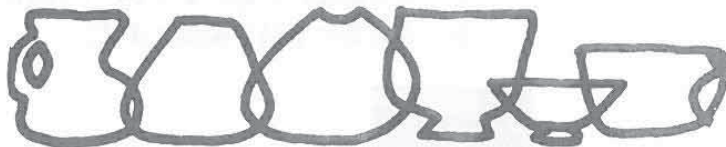
八重青年会  
会長 森広 淳

ボランティアを、今年度の活動方針に掲げた我々は、まず八重西地区で今年初めて盆踊り大会を实行了しました。大変好評だったと聞き一同喜んでます。

次は、交通安全の看板の書き換えに、現在取り組んでいます。

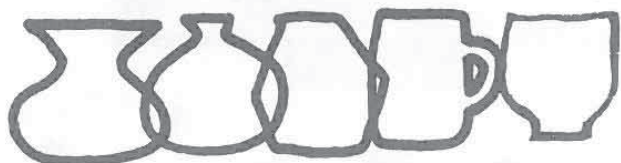
自主的参加をモットーとしていますが、今ひとつ各自の自覚がたりないようです。

今年の文化祭は、自分達の身近にある千代田の民話を取り上げた紙芝居と、会員で台本作りをした紙芝居にしました。一生懸命やりますので、御覧ください。

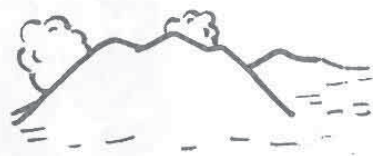


何か形に残そうと、楽焼に挑戦してみました。みんなの個性が作品に表われ、それぞれ良いものに仕上がりました。

青年学級やきもの



本地青年会



私達本地青年会は、男子13名、女子6名、計19名のメンバーで活動しています。

青年活動のモットーと致しまして、地域住民との横のつながりを大切に、地区の行事に進んで参加すること、みんなが気軽に参加しやすいスポーツを通じて心のつながりを大切にしたいと思っています。

今までの活動を簡単に述べてみますと、お寺においての親らん様の降誕会 真夏恒例のキャンプ、体協、青年会、地区のバレー大会、そして夏休みに小学校のキャンプで子供達と一緒に遊んだりしました。

現在「秋祭り、演芸の夕べ」の練習に夜おそくまで取り組んでいます。今年も舞踊、時代劇そして影絵を行います。

それから最後になりましたが、今年も文化祭には、影絵「赤いローソクと人魚」で参加します。





## 南方青年会

私達南方青年会は、様々な試行錯誤をくり返しなが  
らも、若さの特権である、「行動力」を持って、各種の活  
動を行なって来ました。誤ちがまかり通り、小さな真実  
さえも否定されようとしている。社会において少なくと  
も、南方では千代田では、そんなことのないよう願いな  
がら、私達は人間の原点である「和」をターゲットにか  
かけ小さいけれども確かに燃え続けている若者の情熱の  
炎をより一つでも多く結集し、これからを伸びて行き  
たいと考えます。

もちろん私達の手で出来得ることはほんのささやかな  
ことでしかないと思いますが、「ONLY・SHIMPLE」  
を、合言葉に全員で頑張ります。



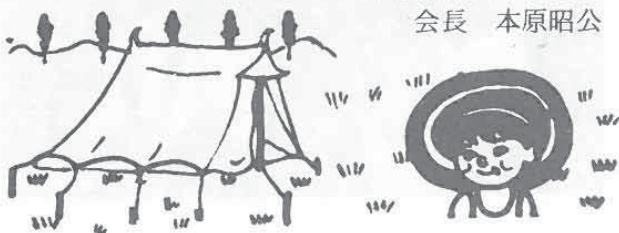
## 八重東青年会

八重東青年会は、男子13名、女子11名、計24名  
です。我が郷里に住まれる方ならどなたでも気軽に入会  
して下さい。

町内に青年会はたくさんありますが、その中でも八重  
東青年会は実にリラックスした青年の集まりです。

私達の一年間の行事としては春に新人歓迎旅行、夏に  
はキャンプそして盆踊り、秋には、競演でのバザー、そ  
してバザーでの旅行、冬にクリスマス会など他色々の行  
事に取り組んでいます。

八重東青年会  
会長 本原昭公





さて、一体どんな

青年会なんだろう？

我ら壬生の子世界の子供、ああ朗らかに育ちゆく  
と文字通り強く、貧しく、美しく育った20余名の元気  
虫集団、それが壬生青年会です。

ここ数年来「ボランティア」を柱に活動してきました。  
今年には更に「コミュニティ」が加わり、カタカナ青年会  
へと華麗に変身しつつあります。来年あたりは、果たし  
て？

一言かければ、パッとすぐに集まる青年会ですが、不  
思議と全員が揃った事がない、全く不思議な集団です。

そんな訳でメンバーの一部にカメラを向けたら、右の  
写真のようになってしまった訳でして……

## 壬生青年会



### 【創作むかし話】 すいかの神様

昔、昔の話です。その年は、毎日毎日の日照り続きで、村々のお百姓さんは、  
大変困っていました。ある日、一人の乞食（すいかの神様）が吾作達の村に  
やって来ました。お千代の兄、権助に乱暴されている乞食を吾作が助けました。  
その時乞食は、私はすいかの神様であるといい、雨を降らすことを約束するの  
です。吾作は、まったく信用しませんでした。その日の夕方から、にわか  
に雨が降りだし、その雨は、次の日になってもやまず、災害が起きるまでになっ  
てきました。吾作は、天に向かって、「すいかの神様、雨を降らすのをやめてくれ」  
と呼ぶのです……。



## 川迫青年会

川迫青年会々員、現在数20数名。今迄活  
発な活動を続けてきましたが、ここ数カ月は、  
川迫丸のかじがうまくとれず、少し方向を見  
失いそうです。しかし、この文化祭を機に団  
結し、新しく、明るい道が開ければと、文化  
祭に向けて頑張ってきました。

今年は、帰ってきた川迫演劇集団千代田公  
演PARTⅡと銘打って、昨年ひげをとらない  
よう、にぎにぎしく上演したいと思います。

御声援下さいますよう、

宜しくお祈いします。

[劇]

### 春の夢

劇は原作をしのげるか

ネバーギブアップ!!



# 文化祭実行委員会

実行委員長 引地 靖博

副委員長 波多野淑史  
竹野けい子

企画・宣伝 広森 春雄  
沖野 尚人  
石田 隆信  
川崎 邦子  
田中 敏己  
宮本 裕子  
楨本 克則  
藤吉 涼子  
田村 一志  
小田 恭介  
井木智由紀  
迫田 明美  
118  
ACC  
クリスタルーツ

会場・展示 森脇 誠悟  
佐々木 彰  
松浦 誠  
中上さつき  
隅中 竜博  
郷田 弘  
清水 勇二  
向井 隆志  
梅木 長子

バザール 下岡 貞子  
大島 コスエ  
伊達 浜子  
立川 澄子

会計 山田 学

千代田町中央公民館



## 編集後記

8月18日 文化祭のための始めの会合  
8月25日 初回 実行委員会  
9月13日 「萌ゆる時代」 采定  
10月29日  
11月2日 前夜祭 } 文化祭  
11月3日 当日祭 }

暑い中、さて今年の文化祭を...  
と始めてから  
何度話し合ったことでしょう

「萌ゆる時代」の中で燃えまわ  
る行事が、文化祭が人々の  
心の中に根ざしていくことを  
願って!

皆様には、いろいろご協力  
ご支援いただきましてありが  
とうございました。

1978